

地震・津波災害に備えて①

●地震災害に備える

地震の発生に備え、被害を最小限にするために、日常から準備しておきましょう。

家具類の転倒・落下防止



地震のときにけがをしないよう、家具を固定するなど、転倒・落下を防ぎましょう。

障害物の片づけ・撤去



避難する際に邪魔にならないよう、障害になるものを置かないようにしましょう。

家屋の耐震診断



家屋の耐震診断を受けて、必要であれば補強を行いましょう。

●地震が発生したら

地震が発生したら、次のことに気をつけて行動しましょう。

丈夫なものの下へ



身を守るため、丈夫な机の下など安全な場所へ避難しましょう。

落下物に注意



建物や塀などから離れ、看板などの落下物から身を守りましょう。

あわてずに火の始末



揺れが収まってから、あわてずにすばやく火の始末をしましょう。

運転中は左側に停止



運転中、地震に気づいたらハザードランプを点灯し、徐々に減速してから、道路の左側に停止しましょう。

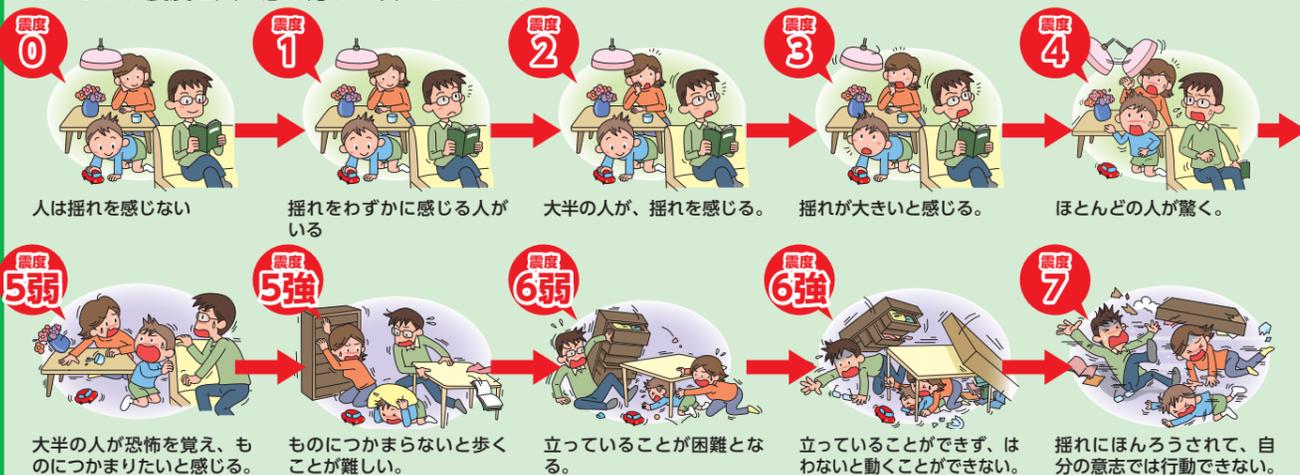
人が多い場所では慌てずに



大勢の人が出口などに殺到すると危険です。あわてず落ち着いて行動しましょう。

●震度と揺れ方

「震度」とは、ある地点の地震の揺れの程度を示します（10段階）。同じ震度でも地盤や建物の階により、揺れ方は異なります。震度と人の感じ方は、次のとおりです。



●緊急地震速報について

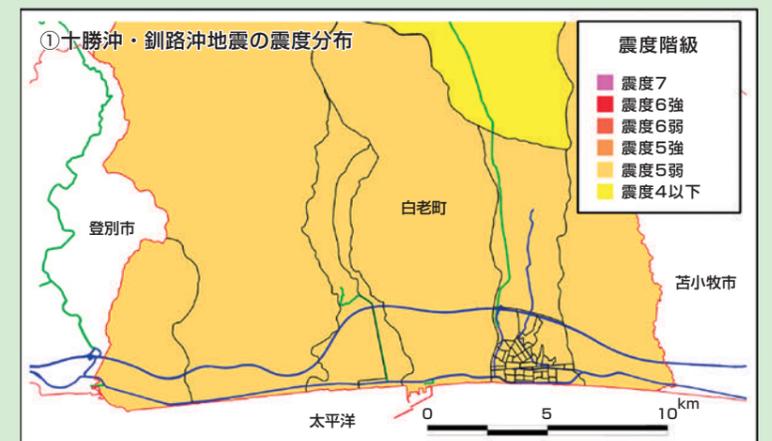
緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前（揺れる前）にお知らせする情報で、予想される震度が5弱を超えた時に発表され、テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話端末で報知音が鳴ります。緊急地震速報を見聞きした場合、強い揺れに注意し、身を守る行動をとりましょう。

●地震のゆれやすさマップ

白老町では、過去の地震において震度4が最大と記録されています。しかし、新潟県中越地震などのように、未知の断層による地震発生の可能性を否定できません。白老町に影響のある、タイプの異なる地震において、それぞれの地域での震度分布を整理した「地震のゆれやすさマップ」は、次のとおりです。

①十勝沖・釧路沖地震

白老町において起こる可能性が最も高いと予想される地震です。震度は海岸沿いなどで最も強い震度5弱、内陸地域（字森野）で震度4以下と推定されています。



②石狩低地東縁断層帯主部による地震

この地震の震度分布では、字竹浦から東部にかけての地域と海岸部、一部内陸部で震度5強の強い揺れが推定されており、その他の地域でも震度5弱の揺れが推定されています。



③全国どこでも起こりうる直下の地震

全国どこで地震が発生するかわからないことを前提として、震源を1つに特定せず、いずれの地域でも直下に、新潟県中越地震規模の地震が発生すると想定した場合、震度6強から震度5弱と推定されています。

●耐震診断について

昭和56年5月以前に建てられた（着工）建物の場合、建物が地震に対して大丈夫か、まず耐震診断を受けられることをお勧めします。町では、耐震診断を無料で行います。

白老町建設課（TEL 0144-82-4215）にご相談ください